



営農支援情報

～営農にお役に立つ情報をお届けします～

平成30年1月1日

(第3号)

発行元:ホクレン北見支所 営農支援室

(アドレス: 11einousien@hokuren.jp)

今号のテーマ:『玉ねぎについて』

【コンテンツ】

- 玉ねぎの生産・販売動向について
- 玉ねぎ列車について(物流動向)
- 北見施防協試験結果:玉ねぎ白斑葉枯病に対する防除効果確認
- 農業経営のさまざまな場面における賠償リスクへの備えについて

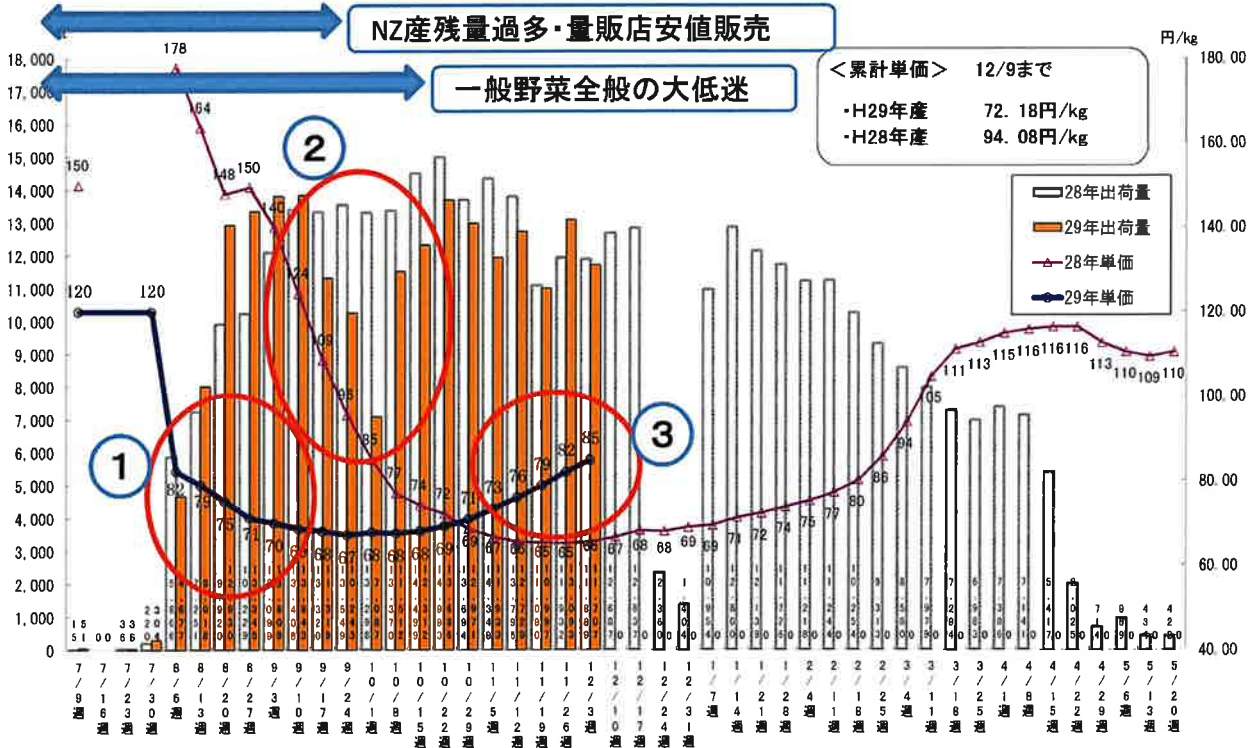
1. 玉ねぎの生産・販売動向について

(1) 北海道産玉ねぎ生産概況

年産	系統取扱数量		生食	加工	輸出	単位:トン
H29年産	572,274	過去4番目	391,000	172,274	9,000	11/10時点計画(対外公表値)
H28年産	610,010	過去2番目	410,910	191,050	8,050	実績
H27年産	612,510	過去最大	411,710	177,900	22,900	実績

- ① 地区間差や中晩生の予測以上の下方修正、等の要素は大きいものの、H29年産の作柄は系統取扱は過去4番目に多い数量となる見込みとなっております。
- ② 当管内につきましても、平均反収は「5,920kg/10a(前年6,750kg)」と平年作以上の作柄となりましたが、地域間・圃場間の格差が大きい状況となっております。

(2) 北海道産玉ねぎ販売経過



- ① 北海道産スタート時期より、ニュージーランド産残量・府県産小玉残量の影響、一般野菜大低迷の背景を受け、下押しの価格推移・市場滞荷の増加と厳しい販売環境が続きました。

- NZ輸入量(3~7月) H29年 23,955トン (H28年16,284トン) **前年比 147%**
- 東京都中央卸売市場(全社)月別《野菜》平均販売単価(円/kg)

	7月	8月	9月	10月
H29年	226	248	240	201
H28年	265	235	270	316
H27年	274	267	284	237

※H29年は10/末より台風による出荷量低下により環境は一変したものの、夏秋期は大半の青果物が販売低迷

②近年稀に見る荷動きの劣悪な状況を踏まえ、消費地環境の改善・需給調整、価格浮揚に向けて**早期より「系統対策」「北見地区独自対策」**を数度に渡り敢行しました。

- ア. 出荷量の総量規制 … 9/17週・9/24週抑制、9~10月の計画遵守出荷
- イ. 出荷調整・出荷停止 … 10/5~8の選果・出荷停止、11/29~30の納品停止
- ウ. 海外輸出対応 … 台湾・韓国へ約9,000トン見込み(年内のみ)
- エ. 消費地保管対応 … 最盛期の出荷促進と消費地出荷量の抑制の双方実現のため(約1万トン)
- オ. 販促・消費拡大 … 末端ユーザーへの試食宣伝・販促資材等の積極投入

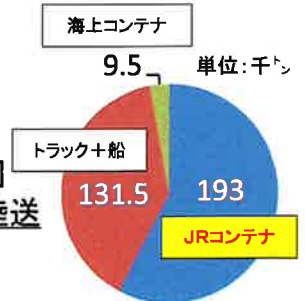
③各対策を講じ、消費地在庫の解消と荷動き良化・価格浮揚に繋がっている現況となっております。**更なる価格浮揚**と足腰の強い価格形成に向けて、適切なタイミングで対策を講じてまいります。

- ◆早期より各系統対策を実施したことにより、ようやく反転攻勢できる環境作りができました。
- ◆現在の作付面積は、豊作時には国内需要を超過する供給量になり、且つ9~11月には相場暴落の危険性が高いのが実情です。北海道一丸となり、また当管内がリードして**適切な需給コントロール**をすることで玉ねぎ生産者所得の確保・向上に繋がってまいります。
~ 系統外が多い程コントロールの効果は薄れます。安価品が出回る程価格は引っ張られます。
- ◆生産者の皆様のご理解あつての系統対策ですので、引き続きご支援頂けると幸いです。

2. 玉ねぎ列車について(物流動向)

(1)重要なインフラ「JR」

- 北見地区玉ねぎの約6割(193千トン/年)を輸送(図1参照)
 - >5トン単位での輸送(トラックは20トン単位)⇒**実需先への小口販売が可能**
 - >トラック輸送は船の発着港に限られるのに対し、JRは内陸部を含む全国各地に駅を持つ⇒**拠点港(苫小牧)から遠い北見地区では、JRの方が陸送距離が短くコスト面で有利**

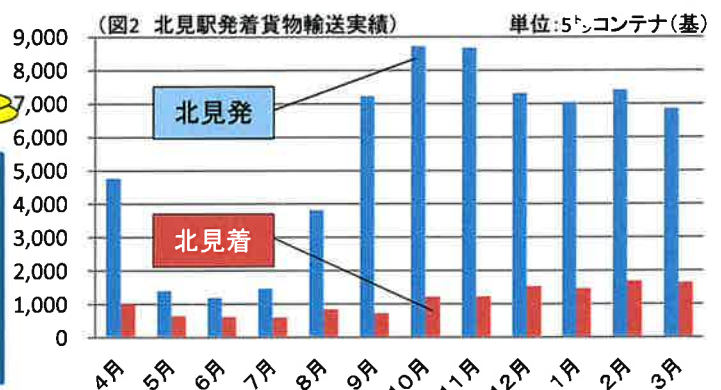


(2)玉ねぎ列車とは...

- 玉ねぎの発送に合わせ、北見一旭川間を8月~翌年4月に運行する**臨時列車**(5トンコンテナ55基/日積載可能) (図1 玉ねぎ輸送実績)
※図1・2ともにH28年度北見駅集配地区実績
- 北見発JRコンテナの約2割を輸送(残り8割は旭川駅までトラックで代行輸送)

(3)玉ねぎ列車の課題と存続支援策

- 北見駅着の貨物が少ない(発貨物の1/8)(図2参照) **赤字を理由に廃止案も...**



~存続支援策~

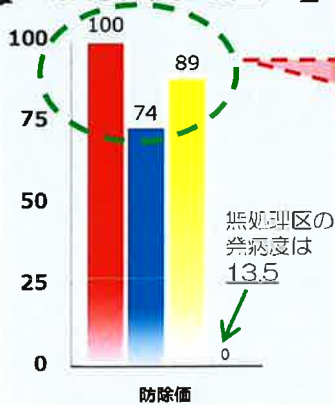
- 玉ねぎ梱包用DBを北見駅着のJRで輸送し、帰り荷を確保!
- JR貨物にコンテナ68基を寄贈! ※注1

★オホーツク管内農産物の安定輸送に欠かすことのできない**「玉ねぎ列車」の存続**に向け、関係各所と連携し、引き続き取り組んでまいります! ※注1 北見地域農産物輸送促進協議会(北見市、訓子府町、美幌町、オホーツク農協連、ホクレン北見支所の5団体が構成)の取組

【北見施防協試験結果のコーナー】

～このコーナーでは過去に行った北見施防協試験※の結果(概要)を中心にご報告いたします～
 ※北見施防協試験とは?・・・オホーツク管内の各JA・網走農業改良普及センター・ホクレン北見支所では、「北見施肥防除合理化推進連絡協議会(北見施防協)」を組織しており、肥料・農薬に関する新資材や新技術に係る現地試験会場を設置し、その結果を取りまとめています。

【H.28 施防協試験結果 (JAぎたみらい設置)】



■ オルフィンFL×3回連続散布
 ■ アイトFL×3回連続散布
 ■ ファンタジスタ顆粒+700ライトSC+アイトFL
 ■ 無処理区

玉ねぎ 白斑葉枯病 に対する施防協試験結果 ～ 新規 SDHI剤 オルフィンフロアブル ～



発病度が低い条件下ですが
 既存剤と比較して、
同等以上の効果 が期待されます。

H.29.10.25 **小菌核病に登録拡大**
 白斑葉枯病と同時防除が可能です!

適用内容 (一部抜粋) 2017年10月時点

作物名	適用病害	希釈倍率	使用水量 (ℓ/10a)	使用時期	使用回数		使用方法
					本剤	フルボラム	
たまねぎ	小菌核病	2,000 ～3,000	100 ～150	前日まで	3	3	散布
	灰色腐敗病						
	灰色かび病 (白斑葉枯病)						

有効成分: フルボラム 41.7%(SDHI) 人畜毒性: 普通物

★ 特長 ★

- ① SDHI剤新規系統
既存の同系統剤と交差して耐性菌が発生するリスクが低い薬剤です。
- ② 幅広い殺菌スペクトラム
- ③ 優れた浸達性・浸透移行性
- ④ 優れた耐雨性

【他連合会等からの情報のコーナー】

～ 共済連より～

～このコーナーではオホーツク管内の他連合会等から提供された情報をお届けいたします～

共栄火災は農業の発展を
 全力で応援します。

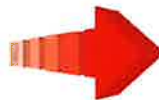


農業にはさまざまな
 賠償リスクが潜んでいます

農業経営においては、稲作、施設園芸、酪農、畜産といった営農形態を問わず、それぞれの営農活動で予想もしない賠償リスクが潜んでいます。

農業散布時のドリフトによる隣接農地の作物に対する賠償、残留農薬や異物混入による農作物回収、逃走した家畜の電車への衝突による賠償などでは、実際に高額な損害賠償請求を受ける事故も発生しています。

農業経営のさまざまな場面における
 リスクへの備えをご相談ください!



北海道農業法人協会
 サポーター会員

★ 損害保険による「事業リスク対策」をご提案!
 <お問合せ先>
 共栄火災海上保険(株) 北海道支店
 TEL 011-221-9158 担当 岡村

★内容に関してのお問い合わせやご意見・ご感想につきましては、ホクレン北見支所 営農支援室 (担当:吉岡)まで、メールにてお願いいたします。(アドレス: 11einousien@hokuren.jp)

～次号予告～

次号のテーマは『酪農(畜産)』についてです。乞うご期待下さい!